

日本語 100

日本語を勉強したことがない人や日本語を勉強したのが150時間未満の人を対象とします。以下のよう人はこのレベルのテストを受けてください。

- 今まで日本語を学んだことがない。
- 日常生活で少し日本語に触れているが、教室で勉強したことがない。
- 『げんきⅠ』『みんなの日本語初級Ⅰ』『まるごと入門りかい(A1)』などの教科書を勉強したことがあるが、忘れてしまった。
- ひらがな・カタカナを勉強したことがないか、ひらがな・カタカナを勉強したことはあるが、正しく書けない。日本語の漢字の読み方を知らない。

日本語 200

初級レベルの日本語を150時間ぐらい勉強したことがある人(千葉大学で日本語101・111・121に合格した人、またはそれに相当するレベルの人)を対象とします。以下のような人はこのレベルのテストを受けてください。

- ゆっくりはっきり話してもらえば、身近な内容なら聞き取れる。
- ふりがなのある短い文章を見て、自分に分かるところがどこか分かる。
- 相手から助けてもらえば、シンプルな表現で短い会話ができる。
- 短い時間なら、ごく身近なことについて、簡単な表現を使って話せる。
- ひらがな・カタカナを使い、短いメッセージを書くことができる。
- 『げんきⅠ』『みんなの日本語初級Ⅰ』『まるごと初級Ⅰりかい(A2)』などの教科書を最後まで勉強した。
- ひらがな・カタカナが正しく書ける。簡単な漢字が日本語で読める。

日本語 300

初級レベルの日本語を300時間ぐらい勉強したことがある人(千葉大学で日本語201・211・221に合格した人、またはそれに相当するレベルの人)を対象とします。以下のような人はこのレベルのテストを受けてください。

- 日本語の先生が言う教室のことばや指示がわかる。
- ふりがなのある短い文章を見て、内容がだいたいわかる。
- 相手との関係を考えて、身近な話題について、短い質問をしたり答えたりすることができる。
- よく使う表現を使い、自分自身や身近なことについて話せる。
- 丁寧な表現を使い、短いメッセージを書くことができる。
- 『げんきⅡ』『みんなの日本語初級Ⅱ』『まるごと初級Ⅱりかい(A2)』などの教科書を最後まで勉強した。

- ひらがな・カタカナが正しく書ける。150字以上の漢字が日本語で読める。

日本語 400

初級・初中級レベルの学習が終わり、日本語を使ってある程度コミュニケーションができる人（千葉大学で日本語 301 に合格した人、またはそれに相当するレベルの人）を対象とします。以下の条件がすべて当てはまる人は、このレベルのテストを受けてください。

- ゆっくりとはっきりと話され、よく使う語彙や表現が用いられた話なら、理解することができる。
- 以下にある文章の内容がわかる。
世界で広く使われている物の中に、日本人が発明した物がたくさんある。病院の胃（い）カメラ、毎日の生活でよく使われている乾電池（かんでんち）、シャープペンシルなどだ。インスタントコーヒーもその一つだ。インスタントコーヒーは 1899 年に日本人によって発明された。当時、コーヒーは日本ではあまり飲まれていなかったため、ほとんど注目されなかった。（平井悦子・三輪さち子『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第 2 版』第 6 課より）
- 広告やメニュー、パンフレットから、具体的な情報を取り出すことができる。
- 日常生活の中で、身近な話題や活動について話し合うことができる。
- 相手の助けを借りながら、会話を続けることができる。
- 自分自身のことやよく知っている内容について、順序立てて発表することができる。
- 先生にお願いしたり、友人を誘ったりするためのメッセージを書くことができる。
- ひらがな、カタカナが正しく書ける。300字程度の漢字が読める。

日本語 500

中級レベルのコースで 200 時間ぐらい勉強したことがある人（千葉大学で日本語 401 に合格した人、またはそれに相当するレベルの人）を対象とします。以下の条件がすべて当てはまる人は、このレベルのテストを受けてください。

- はっきりとした話し方の会話なら、要点を理解することができる。
- テレビのニュースなどを見て、何について話しているかわかる。
- 以下にある文章の内容がわかる。
日本ではお茶といえば、「緑茶」をイメージする人が多いようだ。緑茶は日本人に欠くことができないものであり、昔から食事の後でお茶をいれて飲んできた。しかしながら、時代とともに日本人のライフスタイルが変わりはじめた。社会の変化にともない、人々も忙しくなり、次第に家でお茶をいれて飲む習慣も減ってきた。（立命館アジア太平洋大学編著『日本語 5 つのとびら 中級編』第 6 課より）
- 日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事についてなら、準備なしで会話できる。
- 飲食店での注文間違いなど、日常生活で起こった簡単なトラブルについて、状況を説明することができる。
- 自分の経験や出来事、夢や希望を話すことができる。

- 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に言ったり、本や映画に対する感想を表現したりできる。
- 身近で個人的に関心のある話題や、自分の気持ちや経験について、400字以上の文章を書くことができる。
- 600字程度の日本語の漢字が読める。

日本語 600 中級後半レベルの人（千葉大学で日本語 501 に合格した人、またはそれに相当するレベルの人）を対象とします。以下の条件が大体当てはまると思う人は、このレベルのテストを受けてください。

- 明瞭に話されれば、身近な話題の会話をほとんど理解することができる。
- 明瞭に話され、図表や文字による助けが少しあれば、専門知識のある分野の講義の要点を理解することができる。
- 予備知識がある内容なら、たまに辞書を使いながら、新聞記事、報告書、説明文などを理解することができる。
- 日常生活で出会う場面なら、大体の場合、聞き手との関係を考慮しながら、その場の状況に対処することができる。
- 予備知識がある内容なら、会話や議論の場で、準備なしに自分の意見を簡単に述べることができる。
- 自分の経験や将来の計画について、理由、感想を交えながら話すことができる。
- 自分の専門について、学習・研究の計画や進捗状況について、まとまりのある話をするができる。
- 興味関心のある分野のテーマなら、情報を整理し、自分の意見とその理由を書き言葉を用いてまとめることができる。
- 1000字程度の日本語の漢字を書いたり読んだりすることができる。

日本語 700

上級前半レベルの人（千葉大学で日本語 600 番台の授業に合格した人、またはそれに相当するレベルの人）を対象とします。以下の条件がすべて当てはまる人は、このレベルのテストを受けてください。

- 明瞭に話されれば、長い会話や講義のほとんどを理解することができる。
- 予備知識のある話題であれば、議論の流れが複雑であっても理解することができる。
- 予備知識のある内容であれば、辞書を使わずに、新聞記事、報告書、説明文などを理解することができる。
- 流暢かつ自然な日常会話をするすることができる。
- 予備知識のある内容であれば、積極的に議論に参加し、自分の意見を適切に述べるができる。
- 興味関心のある分野であれば、幅広いテーマについて、明瞭で詳細な説明をすることができる。
- 根拠を示したり、反論を想定したりしながら、自分の意見を説明することができる。
- 興味関心のある分野であれば、主観的な意見と客観的な事実を区別しながら、明瞭で詳細な文

章を書くことができる。

- 情報を適切に整理し、自分の立場を示しながらレポートやエッセイを書くことができる。

日本語 800

上級後半レベルの人を対象とします。以下の条件がすべて当てはまる人は、このレベルのテストを受けてください。

- 長い会話や講義のほとんどを理解することができる。
- 予備知識のない話題であっても、複雑な議論の要点を理解することができる。
- 予備知識のあまりない内容であっても、新聞記事、報告書、学术论文などを大体理解することができる。
- 不慣れな場面であっても、流暢かつ自然な日常会話をすることができる。
- 予備知識のない内容であっても、積極的に議論に参加し、自分の意見を適切に述べることができる。
- 幅広いテーマについて、明瞭で詳細かつ説得力のある説明をすることができる。
- 主観的な意見と客観的な事実を区別しながら、明瞭で詳細な文章を書くことができる。
- レポートやエッセイを適切な文体や語彙を使って書くことができる。